神戸新聞 2015年04月07日 火曜日 面名 朝二社 １５ 30ページ

ため池の数 淡路勢1、2位

全国の市町村別

兵庫県調査

「三原の三大ため池」の一つ、太郎池（現金屋大池）＝洲本市金屋

全国の市町村別の「ため池」数で、淡路市と洲本市が1位と2位を占めることが、兵庫県洲本土地改良事務所が2014年度に実施した調査で分かった。南あわじ市も8位で、淡路島内全3市が10位までにランクイン。同事務所は「淡路島が誇るため池の文化をあらためて見直し、次代へ伝えていく必要性を感じた」とする。（切貫滋巨）

淡路市 1万3301カ所、洲本市 7013カ所

同事務所は14年度、島内のため池の歴史や逸話などを紹介する冊子「淡路ため池ものがたり」を作成。その過程で、ため池の市町村別の数を調べた。

調査では、公開されている都道府県別のため池数がおおむね1万カ所以上の兵庫、広島、香川など6府県を対象に市町村別の数を確認。結果、淡路市には1万3301カ所、洲本市には7013カ所あり、突出して多いことが分かった。

県内ではほかに三木市（4066カ所）が3位、南あわじ市（2483カ所）が8位、神戸市（2311カ所）が9位。都道府県別で全国1位の兵庫県（約3万8千カ所）の中で、約6割を淡路島（3市計約2万3千カ所）が占めていた。

農業用、小規模で多く築造

同事務所によると、淡路島にため池が多いのは、全国平均と比べると降水量が少ない▽大きな川がなく、川からの取水が困難▽急峻（きゅうしゅん）な山間部が多く、大きなため池の築造が困難―などの理由から、農業用水を確保するために小さなため池が数多く造られたという。

ただ、「少子高齢化による農業従事者の減少で、ため池に関わる住民が少なくなっている」と同事務所の担当者。今後は安全面にも配慮した管理の技術、文化の継承が課題になっているという。

全国の市町村別ため池数

①淡路市	13301
②洲本市	7013
③三木市	4066
④広島県東広島市	4050
⑤香川県高松市	2930
⑥香川県三豊市	2903
⑦広島県三原市	2632
⑧南あわじ市	2483
⑨神戸市	2311
⑩広島県三次市	2238

（注）兵庫県洲本土地改良事務所の調査による

存在意義再評価を

ため池に詳しい神戸大農学部・田中丸治哉教授（水文学）の話　人口減少で地域のため池が放置されるようになると、決壊や漏水する恐れもあり、どう管理を続けていくかが課題だ。ため池は農業用水を確保する機能だけでなく、大雨の際に洪水被害を軽減したり、農村の景観を形成したりするなど、多面的な機能も有している。存在意義をあらためて評価し、今後は一般の住民にも関わってもらうことが必要だ。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 兵庫県全体で、ため池は何か所あるでしょう。（約　　か所）

② 淡路島にあるため池は、3市で、兵庫県全体の何割を占めていますか？（約　　割）

③ 淡路島にため池が多いのは、なぜでしょう。理由を3つ書きましょう。

④ 記事を読んで、思ったり考えたりしたことを書きましょう。

NIEワークシート小学校高学年～中学校